

第452回鯖江市議会定例会 一般質問通告書

令和7年9月8日

順位	質問者	質問要旨
1	酒井友季子	1 駐輪場における放置自転車の対策と再利用の可能性について ① 市営駐輪場における放置自転車の定義と現状について ② 条例の改正について ③ 長期休暇中の放置、学生対策について ④ 放置の確認の仕方の改善について ⑤ 再利用の可能性について 2 子育て世代の支援について (1) 子育て家庭の不安に寄り添うオンライン相談体制の導入について ① 「産婦人科・小児科オンライン相談サービス」の検討状況と進捗について (2) 保育所等での主食の提供について ① 市での完全給食の私立・公立保育所、こども園の数は ② 市で完全給食の導入に当たる課題は ③ 市における完全給食導入の可能性について 3 PayPay等を活用した経済活性化キャンペーンの実施について ① これまでのプレミアム付き商品券の実績や効果、課題について ② 鯖江市民の「ふくアプリ」の登録者数ならびにポイントが利用可能な市内店舗数は ③ PayPay等と連携した経済活性化キャンペーンを実施してみてはどうか ④ 地域経済活性化や今後の施策に反映するためPayPay株式会社等と秘密保持契約を締結してはどうか
2	加藤 優	1 認知症の人に寄り添った地域社会の構築について ① 認知症に関する知識および認知症の人に関する理解を深める取組の推進について ② 認知症の人の尊厳ある暮らしを守るケア技法であるユマニチュードの普及について ③ 地域における認知症ピアサポート環境の整備について ④ア 認知症の人の行方不明者対策の強化について、鯖江市の現状と課題 イ 今後の構想について 2 フューチャー・デザインの積極的な活用について ① フューチャー・デザイン手法とバックキャストを活用した持続可能なまちづくりについて ② フューチャー・デザイン手法を政策立案に取り入れるための組織の整備について 3 学校等におけるてんかん発作時の口腔用液の投与について ① 「ブコラム口腔用液」を投与できるという事務連絡について ② 学校側がブコラム投与に適切に対応できる体制の整備について

順位	質問者	質問要旨
3	遠藤 隆	1 移住・定住支援政策事業における投資型政策の推進について (1) 移住支援事業と定住支援事業の進捗について ① 移住支援事業 ② 鯖江市結婚新生活支援事業 ③ 鯖江市U29夫婦支援事業 (2) 投資型政策への推進について ① 所管分担の中で移住政策と定住政策との有機的連携の状況は ② 雇用政策 - ア 産業連携の中で新しい働き方の居場所づくりの考えは - イ 地場産業の技術支援の考えは ③ 地域とのコミュニティ支援 - ア 空き家を利用した住宅支援と地域交流拠点づくりの考えは ④ 子育て支援・教育環境の充実 - ア 定住支援事業と子育て支援とのパッケージ化の考えは - イ 本市独自のICT教育の活用は。移住支援施策と連携も可能と思うが市の考えは (3) 今後の取組について ① 市の数々の取組をどのように届けようとしているのか
4	林下豊彦	1 「鯖江市民への各種情報の周知徹底策」について ① 鯖江市民に対して、広報、周知徹底、啓発活動するための方法は何があるのか ② それらのツールはどのように使い分けているのか。狙いどおりの効果はあるのか ③ 現在の鯖江市の公式LINEアカウントはどのような目的で生まれたのか ④ 今後、鯖江市民への情報伝達のツールとしての鯖江市の公式LINEアカウントの利用者を増やす取組は 2 「居住支援協議会」について ① 「おひとりさま高齢者」の生活支援について ② 「おひとりさま高齢者」の居住支援について ③ 生活支援と居住支援の連携について ④ 居住支援協議会の必要性は
5	帰山明朗	1 「鯖江まちなか交流・にぎわい協議会」について ① この協議会は、鯖江のまちなかに新たな交流とにぎわいを創出することを目的に設立するとしているが、積年の課題であるまちなかの課題に対応するため、今、この協議会を設立する具体的な理由は。また「中心市街地」「鯖江駅」「産業観光・交流」と3つの項目での分科会を設けているが、その理由および3項目への市の課題認識は

順位	質問者	質問要旨
5	帰山明朗	② ①の対応のため、この協議会では具体的に何をどのようにして行っていくのか、また、そのための組織体制は ③ 組織内に福井県職員に入っていただく理由について。県の役割は ④ 昨年度設立し活動中の「さばえ街づくり協議会」の進捗状況と新しい協議会との違いや関係性は ⑤ 補正予算案に計上された設立経費100万円の使い道および今後の進め方・スケジュールは ⑥ この協議会のゴールはどこで。その次はどのように進むのか。まちづくり会社の設立を視野に入れる理由、必要性を含めて示してほしい ⑦ 協議会には鯖江商工会議所、鯖江観光協会、鯖江市、地元産業界や各種団体、福井県と多くの方が関わる。連携し一丸となるためには市のトップの強い思い、リーダーシップが必要だが、市長の決意は 2 米国の関税措置による地域経済への影響など ① 米国の関税措置の市内事業者への影響 ② その対応について 3 最低賃金引上げによる地域経済への影響など ① 各産業ともに中小企業が多い本市において、企業・事業者の視点、また、労働者の視点、そして市内経済全体の視点から見て、それぞれどのような影響を与えると考えるか ② その対応策について
6	土田 光	1 鯖江市の鳥獣害対策について ① くくり罠の成果について ② くくり罠の今後について ③ 緊急銃猟制度の今後の整備について ④ 持続可能な人材育成について 2 再生資源物の屋外保管について ① 市内の再生資源物屋外保管施設の数 ② 再生資源物の屋外保管に関する条例の整備について
7	西野有香	1 各地区におけるまちづくり計画について ① まちづくり計画の全体的な進捗状況 ② まちづくり計画の目的 ③ 地域活動参画ポイントなどのインセンティブ導入や学生連携支援等、市が制度として支える部分に関する今後の方向性 2 学童保育における利用環境改善について ① 学童保育の利用状況や課題 ② 振替休日における午前中の学童受入れ ③ 長期休暇中における学童保育での昼食提供 3 人口減少時代における業務改善と人材配置の最適化について ① 人口減少・職員減少を踏まえた業務改善の必要性 ② 新規事業増加に伴う既存事業の統合・廃止 ③ 専門性を生かした人材配置

順位	質問者	質問要旨
8	大門嘉和	1 鯖江市における新幹線開通とその後 (1) 新幹線による影響について ① 現状をどう把握しているか ② 市のまちづくりの基本姿勢は 2 レッサーパンダについて (1) 飼育環境改善について ① クラウドファンディング後の整備と今後の整備計画 ② 頭数回復と現状での適正頭数についての見解 ③ 聖地としての地位を高める取組とは (2) レッサーパンダによるまちおこし ① メガメガ・ウルウルをもっと活用すべきでは ② ハピライン鯖江駅前でのアピールが必要ではないか ③ ハピライン鯖江駅から西山動物園までを「パンダロード」として整備してはどうか ④ 総合的にプロデュースする戦略が必要ではないか 3 交通環境の整備について (1) 鯖江駅周辺交通社会実験について ① その目的と概要について ② 東口仮設ロータリー設置により見えてきたことは ③ 駅東駐車場の利用状況は ④ 鯖江駅の西口および東口整備構想について (2) 二次交通の現状について ① さばえ定額周遊タクシーと丹南地域定額タクシーの利用状況は ② レンタサイクルの運用と実績は
9	木村愛子	1 提案理由説明から (1) 「甲府市の連携」について ① 「モノづくり」から山梨県甲府市連携事業を発表するに至った経緯は ② 具体的な施策について (2) インバウンドの富裕層を現地に呼び込むさらなる一歩を ① 県が福井空港をインバウンドの受入れに力を入れる。中山公園芝生広場をヘリポートにできないか打診があった。いい案だと思う。インバウンド誘客施策の1つと思うが所見を 2 福祉事業について (1) 障がい者就労支援について ① 役所の障がいのある方の働きについて、雇用率の現状は。また障がい者の法定雇用率の現状と課題について ② 特別支援学校卒業後の社会の受け皿が、鯖江市は弱いように思うが、所見を ③ 就労継続支援A型やB型事業所の現状と鯖江市における課題は

順位	質問者	質問要旨
9	木村愛子	(2) 障がい者等の避難について ① 鯖江市の総合防災訓練において、福祉的な避難所の機能も持たせるのか ② 気がかりな子や障がいのある方の避難所生活などを今後どのように考えていくのか (3) 認知症の方の対応と支援について ① 認知症の現状について ② 認知症はどのくらい周りが対応をできればいいのか (4) 市民生活を福祉という施策で、物価高に対応を考えないのか ① 非常な物価高、市民皆さんにとまではいなくても、子育て世帯や高齢者のみの世帯に、市として支援も必要ではないのか、所見は 3 公共施設等について (1) 公共施設等総合管理計画・個別施設計画について ① 公共施設のマネジメントとして、基本的には何を優先していくのか、所見を ② 公共施設の使われ方として、市民側からの提案もあるのではないか、所見を (2) まなべの館が資料館として、また芸術・美術文化、歴史文化の総合的な拠点施設の役割の充実のために ① 県立美術館が開かれた美術館としてリニューアルに向けて動き出した。暮らしの中にある芸術・美術文化については、広域的に県などとの連携も必要と考えるが、鯖江市の考えは ② まなべの館も「さばえまちなか芸術祭2025」では、会場も収蔵品の保管場所も、まだまだ広い場所が必要なのではないか、さばえNPOセンターの跡地をどう考える、所見を (3) 美術・芸術文化、教育施設は、教育委員会管理、主管の下に、芸術文化行政を進めるべきでは ① 「ふくい文化体験広場」を福井市は実行委員会を組織して開催された。部活動の地域移行に、具体的な方策が鯖江市も取られているのか、所見を ② 美術・芸術、文化で人と地域が、暮らしがあり、人づくり、本来公の施策そのものと思う、所見を
10	東井忠義	1 重度障がい児(者)の支援について (1) 医療的ケアを要する重度障がい児(者)の支援について ① 本市における医療的ケアを要する重度障がい児(者)の現状および動向は ② 第5次障がい者計画の進捗状況について ③ 短期入所や通所サービスの現状と今後の施策について (2) インクルーシブ教育について ① インクルーシブ教育の現状は 2 コメ政策について (1) 渇水対策について ① 渇水相談と補助制度の内容は

順位	質問者	質問要旨
10	東井忠義	(2) コメ増産について ① 耕作放棄地の抑制について ② 再生二期作の推進について 3 歴史探訪とふるさと教育・観光ガイドについて ① 市内の歴史遺産の探訪事業を実施しては ② 地区や学校での歴史探訪事業の実施状況は ③ 産業観光ボランティアガイドの養成状況は
11	田中良幸	1 嚮陽会館の改修について ① 先般、嚮陽会館複合交流施設整備特別委員会で、理事者側から会館と背中合わせの(1)ワイプラザとの間に連絡通路を作って行き来できるようにする話、また、(2)ワイプラザ内にハローワークが移転する話が突然飛び出した。その協業についてはいい話だが、それについての話は、いつからワイプラザを運営するヤスサキ側と始めたのか ② そもそも計画当初、基本計画策定の時にワイプラザなど周辺施設に協業を持ちかけた経緯はあるのか。持ちかけていないとしたら、それはなぜか。嚮陽会館を取り囲む西鯖江駅周辺から西山公園全体の面、エリア、ゾーンをどうするのか、まずはそれを構想し、その中で嚮陽会館はどんな役割を持つのか、を考える、そういった視点が欠けているのではないか ③ Win－Winの関係という表現もあったが、ワイプラザと連動できる実質的な意味合いは大きい。となると、見えてくる地平もまた違ってくるはず。駐車場問題一つにしても。 今ある構造物の中に子どもの遊び場を押し込むことで工法が複雑化し、建設費が高騰、もう32億円に達している。 子どもの遊び場についてはワイプラザに場所を借りて整備し、嚮陽会館は耐震補強、空調などの機材の取替え、NPOセンターの受入れなどの整備に留める、にしては。それぞれに10億円投じて10億円安く上がるのではないかと。となれば、いま一度立ち止まって、計画を見直す気はないか 2 災害時の避難場所について ① 災害時の避難場所は何を基準に決めているのか ② 例えば、鯖江地区の避難所はどこか ③ 今あった指定避難所というのが、よくテレビで報道される「避難所」というイメージか。今5か所あったが5か所それぞれの収容人数は ④ 実は今、鯖江地区の区長会で、各町内に避難場所にしたい公共の建物についてのアンケートを集めている。私が区長を務める桜町、隣の黒小町、有定町は嚮陽会館になる。今後、そういった希望に沿って指定避難所を増やしてもらいたい